

疑いを放して広い真の大道を知れよ。わが身は神徳の中に生かされている。

……「天地は語る」第四十二条……

解説

神様は目に見えませんが、一般の人々にとっては「神様は本当にいるのだからか？」との疑いが起こるのは当然のことです。

しかし、目に見えなくても間違いない存在しているものは幾つもあります。

「風」は目に見えませんが、カーテンが揺れたり煙がなびいたり、ものが吹き飛ばされたりすること、「風」が存在することが分かります。同様に、神様も目には見えませんが、確かに存在します。それは、皆様の御両親、祖父母方がお蔭を受けてきた事実をしっかりと知ること、分からせてもらえます。私達は、何か困った事柄に出会った時、御取次を頂き、一心に神様に心を向けて日々の生活に勤しめば、必ず御蔭を受けることが出来ます。そこから、なお一層信心の稽古に励めば「わが身は、大いなる天地の親神様のお恵みの中に生かされている」ことが分かってきて、遂には、金光大神様の仰る「先の世までも持って行かれ、子孫までも残る神徳」を頂くことが出来るのであります。日々、信心の向上に努め、共々に、そのような御蔭を頂きましょう。